

担い手との意見交換の実施(平成31年4月～令和2年3月)

整理番号	開催日	関係市町村名	公募区域等	主な参集者 担い手農業者 新規参入希望者等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点	今後の予定等
1	R1.10.23	岩美町	蒲生地区	担い手農業者 地域担当農業委員 地域担当最適化委員 岩美町産業建設課 岩美町農業委員会 岩美町振興公社 担い手育成機構	○賃料の減額を希望	○ 農地条件により、賃料の減額見直しを行う。	配分更新時に賃料減額変更を進める。
2	R1.10.23	岩美町	小田地区	担い手農業者 地域担当農業委員 地域担当最適化委員 岩美町産業建設課 岩美町農業委員会 岩美町振興公社 担い手育成機構	○賃料の減額を希望	○ 農地条件により、賃料の減額見直しを行う。	配分更新時に賃料減額変更を進める。
3	R1.10.24	岩美町	大岩地区 本庄西地区	担い手農業者 地域担当農業委員 地域担当最適化委員 岩美町産業建設課 岩美町農業委員会 岩美町振興公社 担い手育成機構	○賃料の減額を希望	○ 農地条件により、賃料の減額見直しを行う。	配分更新時に賃料減額変更を進める。
4	R1.10.24	岩美町	岩井地区	担い手農業者 地域担当農業委員 地域担当最適化委員 岩美町産業建設課 岩美町農業委員会 岩美町振興公社 担い手育成機構	○賃料の減額を希望	○ 農地条件により、賃料の減額見直しを行う。	配分更新時に賃料減額変更を進める。
5	R1.10.25	岩美町	浦富地区	担い手農業者 地域担当農業委員 地域担当最適化委員 岩美町産業建設課 岩美町農業委員会 岩美町振興公社 担い手育成機構	○賃料の減額を希望	○ 農地条件により、賃料の減額見直しを行う。	配分更新時に賃料減額変更を進める。

整理番号	開催日	関係市町村名	公募区域等	主な参集者 担い手農業者 新規参入希望者等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点	今後の予定等
6	R1.10.25	岩美町	本庄東地区	担い手農業者 地域担当農業委員 地域担当最適化委員 岩美町産業建設課 岩美町農業委員会 岩美町振興公社 担い手育成機構	○賃料の減額を希望	○ 農地条件により、賃料の減額見直しを行う。	配分更新時に賃料減額変更を進める。
7	R1.6.14	倉吉市	上北条	奥田政雄、西谷隆徳	排水、区画等の条件の良い場所なら拡大は可能。 条件の悪い圃場は極力引き受けたくない。	排水等の対策は改良区との連携が必要	排水不良田は耕作したくない。
8	R1.12.22	倉吉市	倉吉市	久米ヶ原土地改良区	空き農地：高齢化と後継者不足により空き農地が増加することが想定されるが、それを補うだけの新規就農者があるとは考えにくくどうなるのかとの思いはある。 圃場整備：久米ヶ原の畑地造成は古く、特に服部は土地なりに行ってあるため勾配がきついので不耕作地も多い。		行政、機構と連携
9	R2.1.23	倉吉市	上北条	河崎朗	農事組合総会で当集落の中心的担い手が高齢となっており、今後の集落農業に不安を感じており、集落営農の検討をすることとなった。 現在担い手に集中している農地耕作の受け皿として検討	行政とも相談し集落で検討していく。	他地区での取り組み事例の紹介を依頼した。
10	R2.2.8	倉吉市	上北条	舞立参議員、認定農家10名、営農組合2名、改良区4名、JA理事	・後継者育成により地区農業を守り、儲かる農業をするためには、暗渠排水整備により水稻以外の作物が栽培できるような対策が必要。 ・苗田等の小さな圃場は効率も悪く、大型機械も使えないので畦畔を撤去したいが、コンクリートの畦畔を何とかならないか。	色々な事業活用を検討する必要があるが、地元負担が無いような取り組みや土地所有者と耕作者の調整が必要	改良区を中心として担い手、行政、機構と検討

整理番号	開催日	関係市町村名	公募区域等	主な参集者 担い手農業者 新規参入希望者等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点	今後の予定等
11	R2.2.25	倉吉市	湯梨浜町	伊東農産社長	不耕作地を活用しての規模拡大は考えているが、配分場所があるため、現状は難しい。	町との協議必要	
12	R1.11.20	米子市	淀江	応募担い手農業者 担い手育成機構	○淀江地区基盤整備に向けた現地研修報告 島根県出雲地区、安来地区	○農地の区画、地権者の同意に向けた取り組み等について研修し、淀江地区の取り組みについて意見をまとめた。	R2.2研修会の開催
13	R1.11.21	米子市	米子南	応募担い手農業者 地区担当農業委員 西部普及所 米子市農林課 担い手育成機構	○尚徳・成実地区担い手農家に地域内の営農計画意向を聞き取り調査	○地域図で担い手農家の耕作状況を確認した。 ○ほ場の交換、集約化について検討。	箕蚊屋地区についても同様の取り組みを行う
14	R2.2.12	米子市	淀江	応募担い手農業者 西部普及所 JA鳥取西部 担い手育成機構	○淀江地区基盤整備に向けた研修会 ○営農効率向上の取り組み	○基盤整備後の担い手農業者営農計画について方向性を検討した。 ○ほ場の交換を行った。	R2.7意見交換会の開催
15	H31.4.23	境港市	境港市内	境港アグリスタート研修生 担い手 受入農家 境港市役所 西部改良普及所 担い手育成機構 JA鳥取西部	○研修の状況と将来構想、就農に向けての準備(研修生、受入農家からそれぞれ発表)	○アグリスタート研修生3人とも就農するにあたり法人を立ち上げ3人で就農する ○作業場は確保できた、あとは農地の確保(5haからスタート)	○境港市内の候補地圃場の巡回を6月ごろ実施
16	R2.1.23	境港市	境港市内	境港アグリスタート研修生 担い手 受入農家 境港市役所 西部改良普及所 担い手育成機構	○研修生より就農計画報告 ○就農計画に対する質疑と課題 ○研修受入農家、関係機関より助言	○当初、三人で営農をスタートする考えであったが、それぞれで就農し5年目をメドに状況をみながら3人で法人化を目指す。	○機構追加研修を実施(4か月)しながら本格的に独立化を目指す。

整理番号	開催日	関係市町村名	公募区域等	主な参集者 担い手農業者 新規参入希望者等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点	今後の予定等
17	R1.6.13	境港市	中海干拓地 境港市既耕地	境港アグリスタート研修生 担い手受入農家 境港市役所 西部改良普及所 担い手育成機構 JA鳥取西部	○農地確保に向けての圃場巡回 ○境港中海干拓地返却希望農地を研修生が借受けを希望	○干拓のまとまった耕作放棄地及び返却希望農地の整備、市役所の対応について	○農地の確保に向けては引き続き市役所、機構から情報収集を行う
18	R1.7.9	米子市	安倍河崎	新規参入希望者 米子市役所 農林局 西部改良普及所 JA鳥取西部	○現在の状況と将来構想、就農に向けての計画、準備について協議	○新規就農認定リハーサルにむけて営農計画書について協議	○7月新規就農認定を目指す
19	R1.11.25	米子市	富益大崎	新規参入希望者 担い手育成機構 西部改良普及所 JA鳥取西部	○来年度アグリスタート研修について今後の意向確認聞き取り協議	○就農地、研修先についてどこを拠点とするのか明確に	○R2年2月1日よりアグリスタート研修スタート
20	H31.4.12	日南町	多里	地区担い手農業者 農地利用最適化推進委員 町づくり協議会会長 中山間協定事務局 日野振興センター 日野普及所 日南町農業委員会事務局 担い手育成機構駐在員 (JATAC)	人・農地プラン、意見交換会・研修生坪倉裕樹氏の計画と農地について、湯河の農地等紹介。 ○農地中間管理事業について・多里地区は中間管理活用が少ない ・登記の問題名義変更がなされていないことが多い ・出し手は作り手を選んでダメ・各自治会ごとに農地について話し合ってみることも必要ではないか。	○将来的に地域の農地の状況について話し合いや調査が必要。	研修生坪倉裕樹氏への農地設定。人・農地について検討会の継続。

整理番号	開催日	関係市町村名	公募区域等	主な参集者 担い手農業者 新規参入希望者等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点	今後の予定等
21	R1.10.16	日南町	多里	地区担い手農業者 農地利用最適化推進委員 町づくり協議会会長 中山間協定事務局 日野振興センター 日野普及所 日南町農業委員会事務局 担い手育成機構駐在員 (JATAC)	(人・農地プラン説明・意見交換・新規就農者状況報告) ○今後の農地集約について中間管理事業を活用 ○今の担い手で多里地区守れるか ○ブロックごとに課題について話し合い。 ・農地の出して農家の役割も必要。 ・外部からの協力を得たい。 ・出し手農家の協力必要。中山間集落戦略に向けて	○農地と地域を守る為に共助の仕組み必要では。担い手と出来る人参画で維持出来る仕組み作り必要。	随時検討会を開催
22	H31.4.24	江府町	洲河崎	洲河崎集落委員 日野振興センター 日野普及所 江府町農林産業課 機構駐在員(JATAC)	集落営農組織・法人組織検討会 (経営試算を提示) ○集落には労働力がない。将来的に集落営農組織立ち上げ全てを任せたい考えが多いが、現状5割は自まだ分で出来ると思う。 ○法人化して経営は大丈夫か。面積10ha程で	○集落営農組織か法人組織にするか迷っておられる。集落内の農地面積も少ないことから、メリットデメリットを検討したい。	再度委員での検討会といずれ全体会の開催へ
23	R1.7.1	日南町	石見	地区担い手農業者 農業委員 農地利用最適化推進委員 日野振興センター 日野普及所 日南町農業委員会事務局 日南町農林課 担い手育成機構駐在員	○賃借料について検討 作り手と地権者の希望額差額を町で負担したらどうか。 (地図にて検討会)○条件の悪いと農地を今後どうするか、今後終期が来たら返したい。○農地の見直しのこともあるが、荒廃かすると弊害もある○上石見地区について、神戸上農林撤退の意向。その後(農)農天気で受けれるか。○条件の悪い農地は生産性が上がらない、担い手も受けない。○イノシシの被害電柵とメッシュ。冬の被害も多い。	○石見地区の農地受け手の状況を地図にて色分け検討をしていただいた。担い手も高齢化が進み、その後の農地を法人組織がどこまで受けれるか。法人組織も現状手いっぱい状況。	中規模な担い手の参加を得て、将来的に検討が必要

整理番号	開催日	関係市町村名	公募区域等	主な参集者 担い手農業者 新規参入希望者等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点	今後の予定等
24	R1.9.2	日南町	阿毘縁	地区担い手農業者 若手農業者 日野振興センター 日野普及所 日南町農業委員事務局 地域整備課 日南町農林課 担い手育成機構駐在員 (JATAC)	(基盤整備について若者の意見) 地図にて検討 ○阿毘縁の農地を守る為、若手農業者の意見は効率化と機械化に対応出来る基盤整備が必要。将来人は減る、1h区画の圃場で若者数人で出来る整備にして欲しい。○圃場を農道で囲いたい、4m幅に。 ○排水路を無くしたい草刈りは最小限に。	(関係機関・親世代からのアドバイス)・受け手のイメージ地権者への説明をしなくてはならない。 ○どこを守って行くのか区域の設定もしなくては。 ○住民への説明も必要。 ○若手と現在の担い手とのすり合わせも必要。	10月中旬頃、基盤整備の範囲を絞って地図の精度を上げる
25	R1.12.23	日南町・日野町・江府町	各町毎	中心となる経営体 地域整備課 日野振興センター 日野普及所 日南町農林課 日野町産業振興課 江府町農林産業課 農済西部 JA全農とっとり JA営農センター 担い手育成機構駐在員 (JATAC)	日野郡中山間営農ネットワーク協議会意見交換会(グループ別討議) ・人材確保・農地の活用について・スマート農業○農地の活用についてこれからは農地の分散錯ほの解消と守るべき農地の選択が必要。 ○高齢化によって、農地は担い手に集まってくる。農地の荒廃化を防ぐ意味でも我慢して農地を管理している。せめて地代は無償に。	地域ごとに地図データで検討分散錯ほ解消につなげたい。	農地研修会意見交換の継続
26	R2.3.11	日南町・日野町・江府町	各町毎		日野郡中山間営農ネットワーク協議会意見交換会。(コロナウイルス感染拡大により中止)		
27	R1.11.21	米子市 南部町 伯耆大山	米子市 尚徳・成実	担い手農家米子市農業委員会農林課南部町産業課西部農林業振興課西部普及所担い手育成機構及び駐在員(JATAC)	成実・尚徳地区農地利用配分相談会 ○分散錯ほのところ交換して集約したい。 ○今後規模拡大の計画農地を受けたい。 ○出される農地の情報が入って来ない。まだ規模拡大したい。堰や水路に関して相談できる人紹介して欲しい。	分散錯ほ解消と担い手への農地集約	意見交換会の継続

整理番号	開催日	関係市町村名	公募区域等	主な参集者 担い手農業者 新規参入希望者等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点	今後の予定等
28	R2.2.14	西部管内	西部管内	西部地区集落営農法人連絡協議会会員・担い手育成機構・西部普及所・大山普及所・農済西部支所・JA全農とっとり・JA鳥取県中央会・JATAC	<p>(意見交換会)</p> <p>○農地を守る事で立ち上げたが経営規模は少ない。近隣に法人が出来れば連携が取れるのだが・・・機械のロスが多い。</p> <p>○将来的に農地の管理についてアンケートをとって確認してみるのも方法。</p> <p>○集落で今後も農地は出て来る、法人の負担も限界となって来る、集落の若い人・年金生活者・女性等に役割分担を。</p> <p>○法人の構成員もとしを取った、後継者はいない。</p>	後継者のない法人法人間連携の検討も	協議会での検討会